

本居宣長の新しい価値と未来を目指して

三重県松阪市の公益財団法人鈴屋遺蹟保存会 本居宣長記念館が、
令和2年11月5日※(木)～12月11日(金)クラウドファンディングサイトのREADY FORにて
「本居宣長の魅力を新しいカタチで伝えたい!!」と題して支援募集をスタートします。

※11月5日(新暦)は本居宣長の命日

本居宣長記念館の新プロジェクト「NORINAGA RE:VISION」

「コロナ禍で本居宣長の魅力をどのように発信していくか」

今は気軽に記念館に足を運んでいただくことが難しい、でももっと多くの皆さまに宣長のことを知ってほしい!

そんな思いから、新しいきっかけのひとつとして、映像での企画展の紹介・解説動画の作成など、

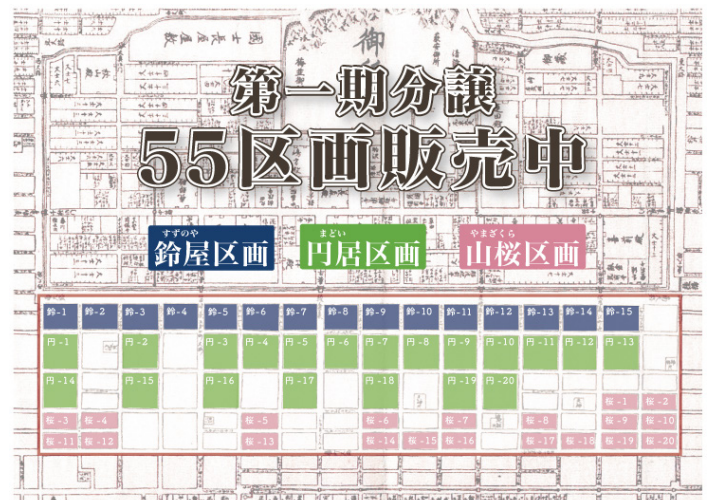
自宅からでも楽しめるコンテンツの充実化を目指すことにしました。

今回は、皆さまとともに宣長の新しい価値と未来を考える「NORINAGA RE:VISION プロジェクト」として

「宣長の作った架空都市の住人になれる!『端原氏(ハシハラシ)城下絵図』町人募集クラウドファンディング」を
企画しました。宣長のまだ見ぬ魅力探しの第一歩を、私たちと一緒に踏み出していただければ幸いです。

端原氏城下絵図 町人募集クラウドファンディング

「端原氏城下絵図」一部区画を販売!!
端原氏城下町 町人募集!! あなたも城下町の町人になり
一緒に町づくりを楽しみませんか?
11月5日(木) 10:00スタート!!



募集期間：令和2年11月5日～12月11日

目標金額：85万円

目的：支援金を情報発信のための機材購入に充てる

返礼品：絵図に購入者の名前を入れた地図の印刷物 他

プロジェクトページ URL：<https://readyfor.jp/projects/norinaga>



プロジェクトページ
QRコード

「新しい価値としての空想都市 端原氏城下絵図」

「端原氏城下町人募集クラウドファンディング」では19歳の宣長が描いた「空想都市 端原氏城下絵図」内の空白区画の50区画分を分譲販売します。宣長理想の都市である端原氏城下絵図へ飛び込み、皆様が町民となって想いを共有し新しい価値や未来を作り上げるプロジェクトです。

皆様と本居宣長記念館と一緒に踏み出す新しい挑戦への第一歩として、端原氏城下絵図の中に描かれている空白の区画を分譲販売します。購入された方には、区画への名入れや区画権利証などの特典を準備しています。

町人居住区の空白区画はおよそ400軒あり、この城下町にはまだ見ぬ生活や暮らし、人生が存在するはずです。

しかし、住人が見えないことでその想像は難しくなってしまいます。

宣長が描いた端原氏城下絵図は町人も住みもっと賑やかになることが美しい形だと捉え、端原氏城下町の発展を目指して、端原氏と一緒に町を構成する町人を募集します。区画分譲するにあたり、画像の赤枠内を1丁目と想定しました。

立地や大きさなどに違いはありますが、今回は50区画を整備しました。

11月5日公開のプロジェクトページ



#三重県 #地域 #地域文化 #歴史

本居宣長の魅力を新しいカタチで伝えたい！！

公益財団法人鈴屋遺蹟保存会 本居宣長記念館

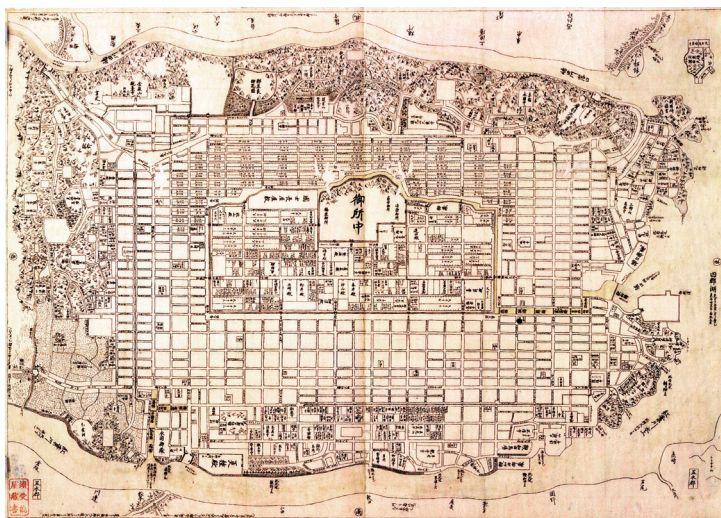


プロジェクト概要 新着情報 応援コメント

返礼品のご紹介

コース名	支援金額	返礼品内容
応援コース	3,000 円	お礼のメールを送付
応援コース A	5,000 円	本居宣長記念館 入館券 ×2 枚など
応援コース B	5,000 円	端原氏城下絵図 原本複製図（縮小印刷）×1 枚 お礼のメールを送付
山桜コース	10,000 円	端原氏城下絵図 1 区画その区画への名入れ 区画権利証印刷 1 枚など（小サイズ区画）
円居コース	15,000 円	端原氏城下絵図 1 区画その区画への名入れ 区画権利証印刷 1 枚など（中サイズ区画）
鈴屋コース	20,000 円	端原氏城下絵図 1 区画その区画への名入れ 区画権利証印刷 1 枚など（大サイズ区画）
宣長コース	50,000 円	鈴屋コース返礼品 + 入館年パス

端原氏城下絵図とは



端原氏城下絵図（ハシハラシジョウカエズ）は、19歳の宣長が描いた架空の都市図です。御所を中心とした町で、道は碁盤の目状に整然と並び、南北には川が流れています。京都を参考に描いたと言われています。宣長は京都に憧れを持っていました。これは、地図好き・系図好きな宣長が自分の理想を詰め込んで作った町です。

また、端原氏城下絵図を描く前、延享4年（1747）前後に「端原氏系図」を書き上げています。

端原氏系図はこの架空都市を治める端原氏の一族や家臣を系図にまとめたもので、端原氏も架空の人物、それぞれの生年や幼名、通称、屋敷の場所などがすべて記されています。

驚くことに、人名だけでなく地名や年号までもが架空ですべてが宣長の想像です。

お問い合わせ

公益財団法人鈴屋遺蹟保存会 本居宣長記念館

0598-21-0312 クラウドファンディング係